東京港大井ふ頭1，2号コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
東京港埠頭株式会社	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
株式会社ダイトーコーポレーション	ハイブリット型RTGの導入 尿素式NOX低減トラクターヘッドの導入
東京港埠頭株式会社	ヤード照明のLED化、 再生可能電力の導入、事務所棟 照明のLED化
東京都	環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の導入
東京都・東京港埠頭株式会社・一般社団法人東京港運協会・株式会社ダイトーコーポレーション	ゲート予約システムの導入、早朝ゲートオープンの実施、降ろし取りの実施

［ターミナル概要］

東京港の主力であり国内最大級の規模を誇る「大井コンテナふ頭」に位置しています。岸壁長660mに20列対応の高規格(インバーター制御方式）ガントリークレーンを配備し、ヤード面積約26ヘクタールを誇る高規格ターミナルです。ゲート前の混雑解消と物流効率化に向けた新システム（CONPAS）の常時運用や、早朝ゲートオープンや卸し取りを実施し、首都圏をはじめとする日本のサプライチェーンを強力に支え、経済の安定と発展に貢献しています。

Carbon Neutral Port
CNP
CNP Certification

認証レベル
Level 4++
(認証日 令和８年１１月２０日)

CO_2排出量原単位
5.07 kgs CO_2 / TEU



ハイブリッド型RTG



CONPASの常時運用



EV車両及び充電設備